**語彙学習･漢字学習のコツ、一般的な注意点**

（どんな語を学習するか）

・よく使われる語を中心に勉強して、ときどきしか使わないような単語は後回しにしましょう。自分の生活や勉強・仕事・趣味に必要な語を勉強しましょう。

（語の学習量）

・一日や一週間にどのぐらいの語を覚えられるか、数えてみてください。どれだけの期間にどれだけの語を覚えるか、目標を立てるといいです。

（理解語彙と使用語彙）

・理解できればいい語彙と、使えたほうがいい語彙を分けて勉強しましょう。使えるほうがいい語彙は、自分に合う例文を作りながら勉強しましょう。

（語の形・意味の学習）

・具体的な例文や語の組みあわせで語を覚えるほうがいいです。

・覚えた単語を忘れないうちに繰り返し学習するほうがいいです。短い期間に繰り返し語を見ると、記憶を強化することができます。

・似た形や似た意味の語・字は、初めはいっしょに勉強しないほうがいいです。一つの語の使い方がよくわかるようになってから似ている語の勉強をしましょう。

・ウェブサイトやパソコン・ソフトをうまく使いましょう。自分の好きなフラッシュカードを作れます。ほかの人が作ったカードもあります。

J-Talk: <http://www.j-talk.com/eiwa/index/>

Smart.fm: <http://smart.fm/goals/search?autodetected=japanese&keyword=&language=ja>

Quizlet: <http://quizlet.com/>

WordChamp: <http://www.wordchamp.com/lingua2/Browse.do>

\*手と紙でフラッシュカードを作るのもいい方法です。

　<http://www.rikai.com/perl/Home.pl>　日本語のウェブサイトを必要に応じて単語の翻訳を見ながら読むことができます。

（漢字の形・意味の学習）

・いろいろな語に現れる漢字に注意して勉強しましょう。漢字２文字の組み合わせでどんな語ができるか、考えながら勉強しましょう。

・漢字の部分の形と意味を学習しましょう。漢字の形を部分に分ける練習をして、部分の組み合わせかたを覚えましょう。少しの部分で多くの漢字ができます。

・ウェブサイトやパソコン・ソフトをうまく使いましょう。

　<http://www.asahi-net.or.jp/~ik2r-myr/kanji/kanji1pa.htm>　漢字をフラッシュカードで勉強できます

　<http://marinebat.com/gahoh/index.php>　Stroke Order Movies で漢字の書き方がわかります

<http://www.hiragana.jp/>　 web pageにふりがなをつけるサイトです

レベルに応じた語彙学習の方法

1) 初級（1K-3K）の語彙　<http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html>

・日常生活で使われる基本的な語が多いです。一つの語が二つ以上の使い方を持っていることも多いのですが、一つずつ覚えましょう。

・このレベルの語彙は会話や作文に欠かせない語彙です。理解できるだけでなく、使えるように学習しましょう。

・語を目で見て、できるだけ早く発音できるように練習するといいです。また、語を耳で聞いて、字が思い浮かぶように練習するほうがいいです。

・初級の単語を勉強できます　<http://www.ajalt.org/sfyj/index.html>

2) 中級（3K-8K）の語彙　<http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html>

・ときどきしか出てこない語が多くなりますから、短い期間に繰り返し同じ語が出てくるように、自分の必要な分野や興味のある分野に集中したほうがいいです。

・意識的な語彙学習を続けたほうがいいです。使いながら覚えるだけだと、ときどきしか出てこないので、忘れてしまうことが多くなります。

・何かを読むことは語彙を増やすいい方法です。知らない単語が少ないものを探して、楽しんで読みましょう。

・知らない単語を聞いたり見たりしたら、その単語の意味を質問したり辞書で確認したりしましょう。

・単語カードに形や意味を書くことも進歩を確認しながら学ぶのにいい方法です。

・字幕つきの映画や、ゲーム、歌などもいい学習素材です。自分で楽しめる方法を探して勉強しましょう。

・よくいっしょに使われる語や反対の意味の語など、語と語を関係づけながら勉強するといいです。

・語の意味の自分の母語と日本語の違いに気をつけたほうがいいです。

・日本語には、中国語、韓国語、ベトナム語、英語などと同じ語源の単語がたくさんあります。同じ意味・用法を持っていることが多いです。ただ、異なっている場合もたくさんあります。違いの有無などを相手に確認しながら、自分の母語と対応する日本語を使ってみるといいです。

・よくある複合語のパタンや漢字の組み合わせに気をつけたほうがいいです。

・一つの漢字を見て、音読みと訓読みが思い浮かぶほうがいいです。音読みの漢字語を聞いて、一つ一つの漢字の訓読みが思い浮かぶようになると、自然な日本語に触れる中でたくさんの語が学習できます。その練習にこのサイトが役に立つかもしれません。　<http://www.asahi-net.or.jp/~ik2r-myr/kanji/kanji1pa.htm>

・知らない単語の少ない簡単な素材で、スピードの速いものを聞けるように練習したり、早く読んだりできるように練習するといいです。

3) 上級（8K以上）の語彙　<http://www.wa.commufa.jp/~tatsum/English%20top_Tatsu.html>

・本当にたまにしか出てこない単語が多くなります。覚えたい語は覚えられるまで印象に残るような方法で繰り返し学習しましょう。

・よい学習方法は中級までと似ていますが、目標に応じて、自分にあった方法を探してください。